
初めて恋をしました。

朱璃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

初めて恋をしました。

【Nコード】

N0059BA

【作者名】

朱璃

【あらすじ】

出会いは、放課後の音楽室。

恥ずかしがり屋で内気な少女とクラスの中心的な少年の恋の物語。

13歳にもなつて初恋がまだな少女はある日、恋をしました。恋というものをしたことのない少女は、少しずつ初恋の想いを強くさせていくのでした。

ピアノで出会った2人の成長を描いたストーリー。

1話（前書き）

久しぶりに投稿しました。読んでください

1話

私、西田 りか。ピアノがだい好き。まわりの友達も「りかのピアノは大好き」って言うてくれる。

私は毎日放課後に空いた音楽室のピアノを自由に弾いているの。今日は、昨日始まったばかりのドラマのメインテーマを弾いてみた。聞いたのをそのまま弾くだけなのに、とっても楽しい。昨日始まったドラマは「思い出」。内容は、主人公のゆきが小学生の頃に恋をした相手けいたに、高校生の夏たまたま出会ってしまう話。ありきたりな内容だけど私は恋をしたことがないから憧れてしまった。ドラマのメインテーマは、やさしいゆきの想いがそのまま、歌になったように切なくやさしい曲。曲名は「初恋」。

私は、初恋を弾き出した。止まらない、やさしい気持ちになる。私は、音楽室でピアノを弾いた。

楽しい時間はすぐに終わってしまう、十分にはまだ弾けてないのに下校のチャイムがなった。私は、急いでピアノを片付け、鞆を持って立ち上がった。

ガタッ。

ドアの所に同じクラスの小川さんがいた。小川くんは、クラスの中の心的男子で明るく、静かで人見知りな私とは正反対の男子。私が、急いで教室を出ようとすると小川くんが「お前のピアノって心がこもっているな！」

と話しかけてきた。私は、恥ずかしくなって逃げてしまった。

2話

ああー。

私のほかあ。また、逃げてしまった。クラスの友達以外にはしつかりと喋ったこともない！私は、辺りを見回した。ここは、学校の近くの公園！

「おい、西田。どこだあ？」

この声は、小川くん。追いかけてきたあ。どうしよう、何で、どうして？私は、理由もわからずとりあえず隠れてみた。

小川くん、一生懸命に探してる。そんなとき、ブルルル、ブルルル。携帯にメールの着信音。すると、

「見つけた。」

目の前には、小川くんが。私の腕をつかんで顔を寄せてくる。そして、

「西田、何で逃げたの？」

私は、理由がないから黙っていた。すると小川くんが手を離してきて、話しかけてきた。

「怖がらしたなら、ごめん。でも、西田のピアノすげーよ。俺、ファンになっちゃいそうだ。心がこもっているから大好きな演奏だったよ。だから、だから見てた。」

私は、驚いた。小川くんが優しく笑ってくれるのが嬉しくて。私は、小川くんといるとドキドキした。小川くんの笑顔、かっこいいな。

3話

「はるー。おーい小川はるー。どこー？お母さん、心配してるよ。」
小川くんは、私に「ゆめが来た。それじゃ、またな」と言っただけで走っていった。さっき、小川くんを呼んでいたのは小川くんの幼馴染みで家族ぐるみの付き合いをしているらしい（噂になっている）山田ゆめちゃん。さばさばして、かわいくて明るくて小川くんにお似合いな女の子。

まだ、ドキドキしている。私は、家に帰った。

この気持ちが高んなのか分からなかった。私は、どーなったの？私が悩んでいると、お姉ちゃんが入ってきた。3歳上のお姉ちゃん。私は私と性格が正反対。小さい頃からすごく可愛がってもらっている。そして、私が見たドラマのゆき役を演じている女優。お姉ちゃんは、私の憧れ。相談にもよくのってくれる。お姉ちゃんは、私に「りか、恋したでしょ。」と言ってきた。

私は、驚いた。恋なんて……。初恋もまだなのに。私は「わからない。」と言った。するとお姉ちゃんは、「りか、初恋だねえ。初恋は楽しいよ。」そしてそれだけ言うと部屋を出ていった。

4話

私は初恋をしたんだ。このドキドキした気持ちに恋なのかな？不思議だけど小川くんが頭のなかをぐるぐるしてる。

私は、小川くんの楽しそうな笑顔に惹かれた。一言が心の奥にしっかりと語りかけてくる。私は、次の日、早めに学校に行った。

授業が長く感じられた。そして放課後。私は、昨日の夜、自分の想いをいれた曲を作った。ピアノでひくと、心の奥から感動が込み上げてくる。

私が、何度も弾いていると、小川くんが「いい曲だな。誰が作った曲なの？」

と聞いてきた。私は小さな声で「私が作ったの」と言った。小川くんは「お前、すごすぎ。才能ありすぎ。やっぱり好きだわ」と言った。私は小川くんの言葉に切なくなった。やっぱり、私の事じゃなくて私のピアノだよな

私は、小川くんがすき

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0059ba/>

初めて恋をしました。

2011年12月31日02時46分発行